



2023年1月16日

各 位

会社名 株式会社ファインデックス
代表者名 代表取締役社長 相原 輝夫
(コード番号：3649)
問合せ先 取締役管理部長 藤田 篤
(TEL. 089-947-3388)

新部署の設置に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり新部署の設置について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

当社はこの度、「病院ソリューション部」内から医療機関を対象としたコンサルティング事業を、また「事業戦略室」内から自治体や公的企業を対象としたシステム事業をそれぞれ切り離し、「コンサルティング部」及び「公共ソリューション部」を本日付で新設することといたしました。

【コンサルティング部】

近年の医療機関における、システムを含めた情報の管理と利用は複雑さを増すとともに、クラウド化の推進やセキュリティ対策の強化、医療機関がシステムを駆使し院内に存在する問題をどう解決するかなど、高度かつ専門的な知識を必要とする事項が数多く存在します。一方、このような課題に対応可能な、医療とシステム双方に精通したコンサルティングを提供できる組織は、極めて少ないのが現状です。

コンサルティング部は、従来はシステム販売の一部であったコンサルティング業務を、新たな収益の柱の一つとして成長させるために新設されました。当社はこれまで長年にわたり、様々なシステムの提供により医療機関のDXを多角的に支援してまいりました。これらを通じて蓄積した知識やノウハウを最大限に活用し、大学病院やナショナルセンターに対する包括的なDXコンサルティングサービスから、地域のクリニックへのセキュリティ対策に至るまで、個々の医療機関に対してそれぞれの最適解を提供することが可能です。当部署の新設により、これまで以上に高度かつ広範囲にわたるコンサルティングを提供し、医療現場におけるプレゼンスを更に高めてまいります。

【公共ソリューション部】

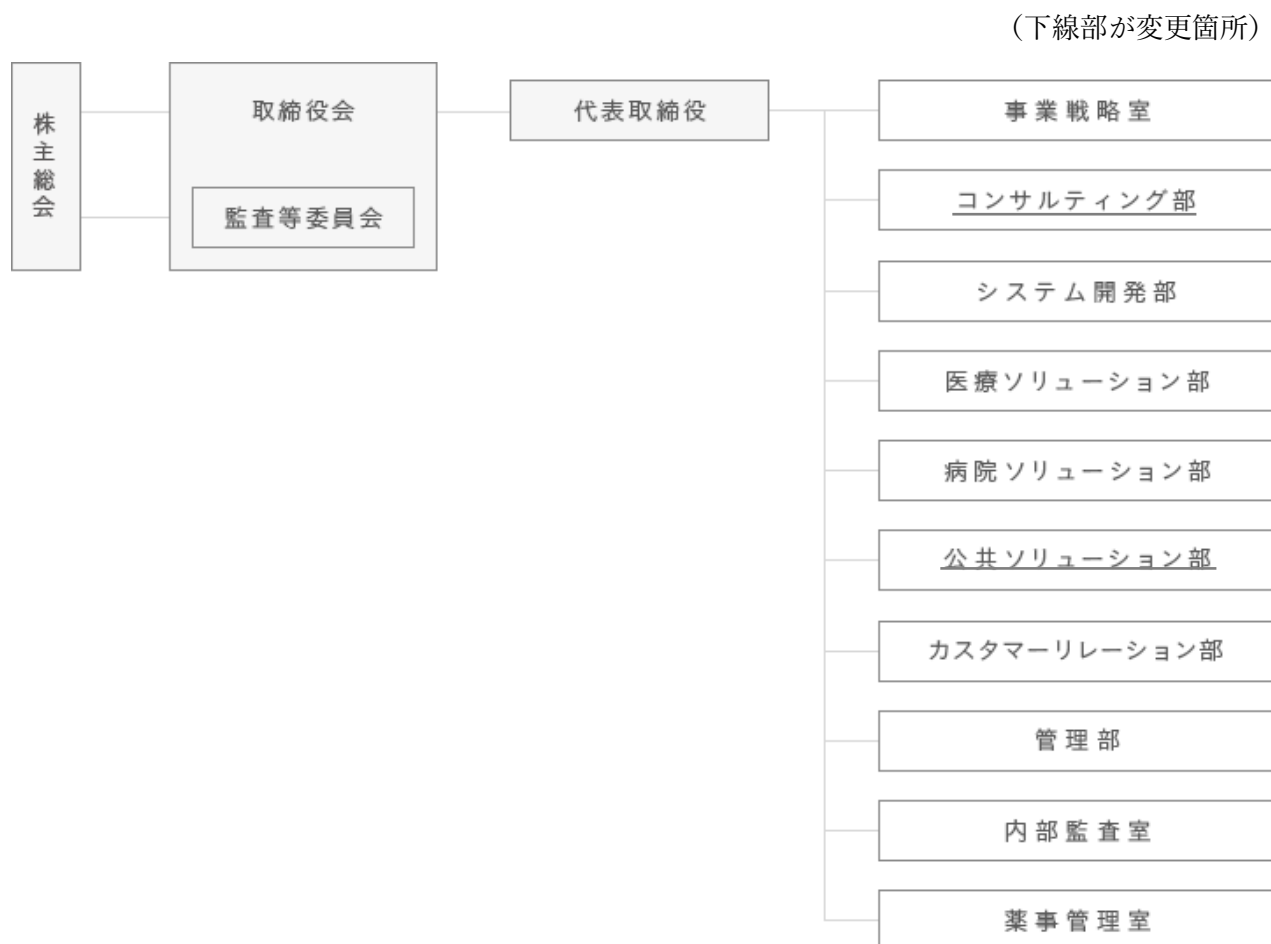
文書管理システム「DocuMaker Office」を中心とする、当社のオフィスシステムのプロジェクトは、これまでは新規事業としての位置付けから既存の事業戦略室が管轄しておりましたが、同分野での今後の需要増に対応するために公共ソリューション部を新設し、組織の拡充を図ることといたしました。

自治体や公的企業等におけるバックオフィス業務のDX推進に伴い、当社の公文書管理・決裁システムは近年順調に実績を積み上げてまいりました。組織の足固めを行いプロジェクトを事業化すること

で、多くのお客様からのご相談や引き合いにこれまで以上に積極的に対応し、更なる業容の拡大に注力いたします。

また、これに伴い、オフィスシステムに関する事業活動は、会計上の報告セグメントとしても「システム開発事業」から独立し、2023年度第1四半期決算発表より「公共ビジネス」として報告を開始いたします。詳しくは当社より本日別途発表の「報告セグメントの変更に関するお知らせ」をご参照ください。

【参考：組織図（2023年1月16日時点）】



以上